

# 丸徳グループ

## 車両分科会

だ

よ

り

Vol.23

丸徳グループ各社従業員の皆様  
毎日の業務、ご苦労様です。

今月の記載内容は・・・

- ・先急ぎ運転は百害あって一利なし！！
- ・よくある事故の未然防止！
- ・交通ヒヤリハット（視界の妨げ）
- ・愛知県警からのリーフレット12月

# 先急ぎ運転は百害あって一利なし！！

スピード超過や信号無視、一時停止しない、抜け道を利用…等に代表される先急ぎ運転。

どんなに急いでも到着時刻は5分も変わりません。

**先急ぎ運転は百害あって一利なし！！**

時間にゆとりを持って運転する事を心掛けましょう。



## 先急ぎ具体例！



### 信号無視！

強引に目前の信号を無視して通過出来たとしても、次の信号は赤かもしれません。出発地から目的地まで、一度も信号で停止する事無く走行出来る事は皆無です。



### スピード超過・煽り運転！

10km先の目的地に時速50km/hで走行する車と、時速100km/hで走行する車。到着時間の差は6分です。煽り運転をして運よく譲ってもらったとしても、数台前に出られるだけでももの数秒しか変わりません。



### 抜け道利用！

渋滞は走行している道だけで発生しているわけではありません。その周辺一帯が混みあっているという事です。多くの場合はその先でつまっていたりします。事故のリスクを負って得られるメリットは皆無です。

先急ぎの心理になったら、  
なおい紐を見て心を落ち着かせましょう！！



# よくある事故の未然防止！

自動車事故の内、6割が4種類の事故で起こっています。  
よくある事故だからこそ、事故を未然に防ぐための  
ポイントを押さえておきましょう。



1位

バック時の事故！！

2位

出会い頭事故！！

3位

追突事故！！

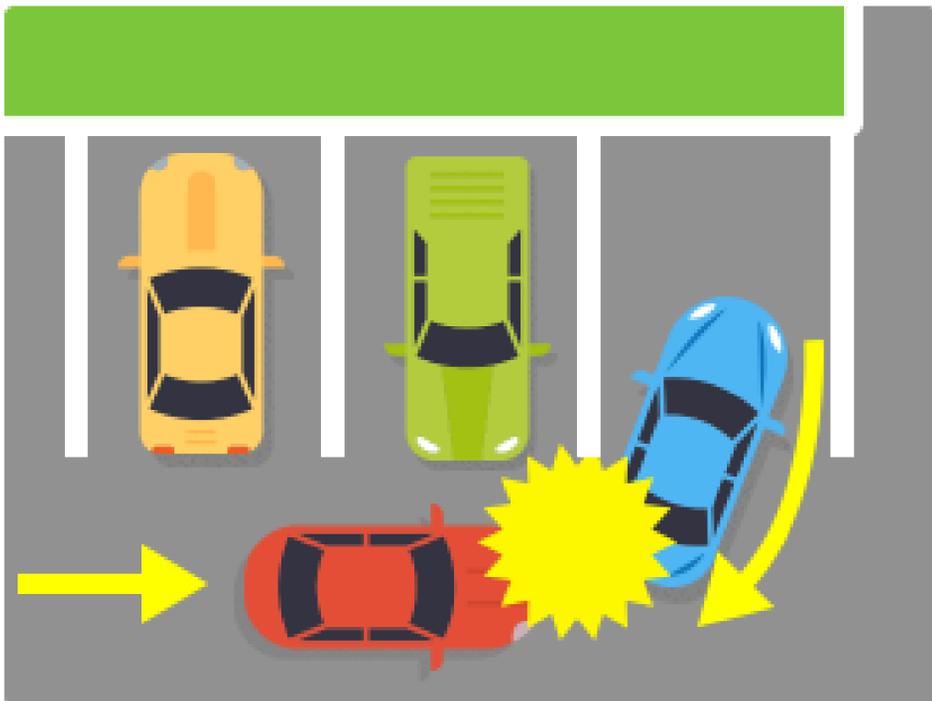
4位

右左折時の事故！！

1位

自動車事故の  
16.4%

バック時の事故！！



主な原因：安全不確認など  
注意する場所：駐車場

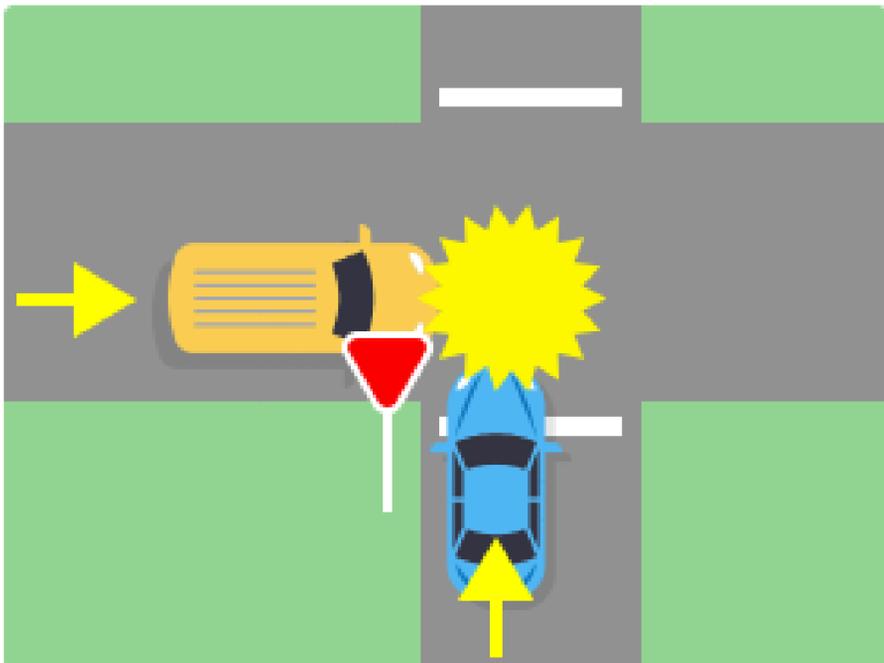
防止するには…

- ・ミラーやモニターだけに頼らず目視確認
- ・見えない時は下車して安全確認
- ・ゆっくりと歩くくらいの速度でバック

2位

自動車事故の  
15.9%

## 出会い頭事故！！



主な原因：安全不確認・一時不停止など  
注意する場所：信号がない交差点

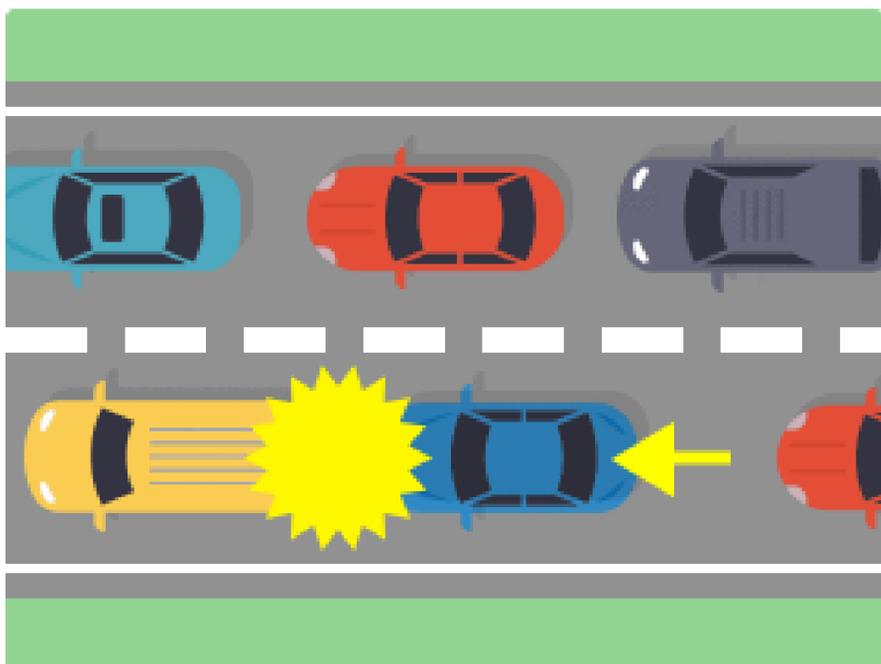
### 防止するには...

- ・一時停止では完全に車輪をとめて、左右の安全を確認
- ・住宅街では自転車・歩行者の飛び出し注意

3位

自動車事故の  
15.6%

## 追突事故！！



主な原因：脇見・動静不注視など  
注意する場所：直線道路・交差点

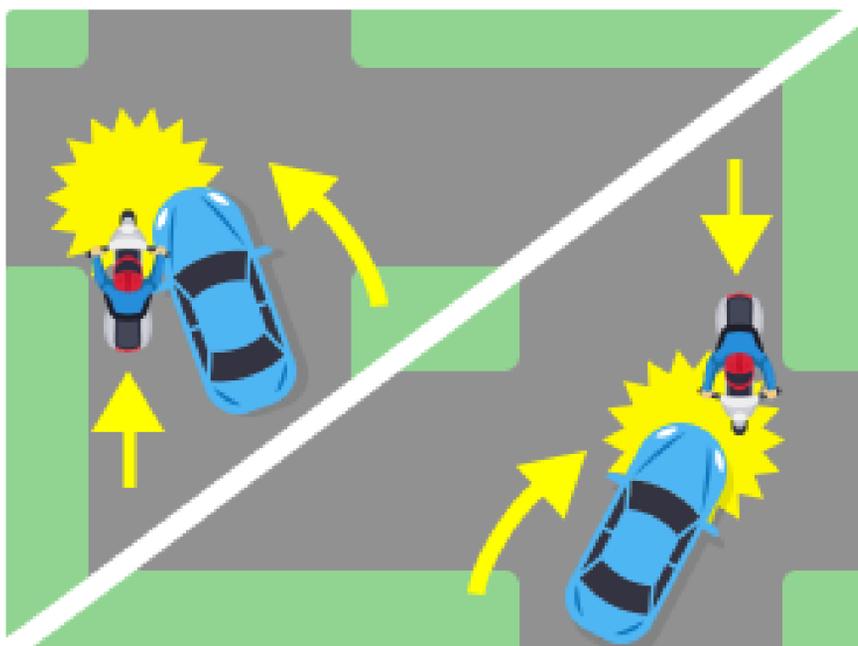
### 防止するには...

- ・前の車の減速・停止を予想しながら運転
- ・低速走行中であってもしっかり集中
- ・余裕を持った車間距離を確保

4位

自動車事故の  
12.3%

## 右左折時の事故！！



主な原因：安全不確認・動静不注視など  
注意する場所：市街地の交差点

### 防止するには...

- ・右折時は対向車の陰に隠れた危険を予測
- ・左折時は車輛の死角を意識し巻き込み注意
- ・横断歩道上の歩行者・自転車にも十分に注意

# 交通 ヒヤリハット

## ヒヤリ：視界の妨げ



### 状況

国道を走行中、換気のために窓を全開にして走行した。



ヒヤリ

車に置いてあったビニールが風で車内を舞い、運転手の視界を妨げて、前方の車にぶつかりそうになった。

運転中は、予期せぬ事も起こります。

ペットボトルや、缶などがブレーキの後ろに挟まり衝突する事故、荷物が乱雑に積んであり、落ちた荷物を拾う為に前方が見えず事故になるケースもあります。

車は、外観だけでなく「**車内もきれいに**」しましょう。



夕方の5～7(ゴータナ)は“魔の時間”  
～歩行者は反射材等を着用  
ドライバーは早めのライトオン～

# 交通事故防止のPOINT

1月号

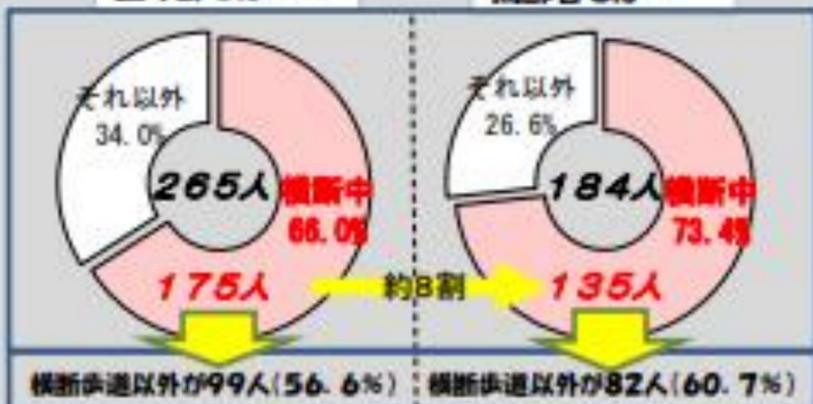


道路横断中の交通事故防止～高齢者の方と横断実験をしてみました～

【歩行者死者の特徴】 ※令和元年～令和5年に愛知県内で発生した事故をもとに作成

全年齢では…

高齢者では…



半数以上が道路を「横断中」!

横断中の約8割が高齢者!

横断中の半数以上が横断歩道以外の場所を横断!

※「それ以外」とは、河原・対面通行中、路上横断、作業中など



歩行者死者の傾向を踏まえ、「高齢者の道路横断に関する意識調査」と「一般成人と高齢者の道路横断実験」を行いました。

※意識調査：横断歩道を利用せず道路を横断又は横断しようとした65歳以上の高齢者620人にアンケート調査したもの  
※横断実験：成人5人(平均41.8歳)と高齢者5人(平均82.2歳)の歩行速度を比較するなどして検証したもの

意識調査の結果

7割以上の方が道路の横断に危険を感じていませんでした!

注意すればよい  
いつも横断している  
車が止まってくれる

実験結果

一般成人に比べ高齢者の通常横断時間は約1.5倍かかりました!

しかしながら



道路を安全に横断するには?

①横断歩道を利用しましょう!

横断歩道は、ドライバー側に「歩行者がいるかも?」という意識が働きやすい場所です。

少し遠回りになっても、横断歩道を利用することで、ドライバーから気が付いてもらいやすくなります。

②横断途中でも2度目の安全確認をしましょう!

道路を渡る前に安全を確認、そして横断途中でも2度目の安全確認を行きましょう。

油断大敵!



まだまだ夕暮れ時が早い季節です。反射材、LEDバンド等の活用を忘れずに!



◆1月の日没時刻は、午後4時51分(1日)から午後5時19分(31日)です。